

指先にはめた、あのサックの正体は？

医療系のドラマなどで、ベッドに寝ている重症患者さまの指に、コードのついた洗濯ばさみのようなものをつけている場面を目にしたことがあるでしょう。そして、ドラマ内で「サチュレーションが下がっています」と、医師や看護師が叫ぶ場面……

このサチュレーションというのは、酸素飽和度というもので、血液（動脈血）の中を流れている赤血球に含まれるヘモグロビンの何%に酸素が結合しているかを表した数値です。指にはめたサック内には、赤い光が出ていて、その反対側に光を受け取るセンサーがついています。この間に指を入れることにより、皮膚の上から拍動する動脈の血流を検知し、光の吸収値から酸素飽和度を計算して表示されるのです。酸素飽和度は、一般的に96～99%が標準値とされ、肺や心臓の病気で酸素を体内に取り込む力が落ちてくると下がります。加齢によってもある程度低下し、労作時にも変動します。



近年技術の発達により、腕と指に器具を装着して寝るだけで簡単に睡眠時無呼吸の検査が行える酸素飽和度モニタが開発されました。当院でも睡眠時無呼吸検査のスクリーニング検査機器として使用しています。